

5月31日(水)、内閣官房長官と文部科学大臣に「国公立PTA4団体による合同要望書」を提出しました

衆議院議員会館会議室において松野博一内閣官房長官に、文部科学省大臣室において永岡桂子文部科学大臣に「要望書」を手渡しさせていただきました。子供たちの教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実に向けた教育全般の発展に向けた意見交換の時間をいただきました。

要望書を PTA4 団体が合同で提出した取り組みが行われたのは今回が初めてのことです。当日は、塩谷立議員（元文部科学大臣）もお忙しい中お時間を作っていただき、衆議院議員会館と文部科学省のそれぞれに同席してくださいました。

話し合いを通して子供たちへの力強いご支援と学校教育のさらなる充実に向けてのお言葉を皆様からいただきました。

今後も4団体が連携して保護者の意見を届けられるよう、しっかりと活動してまいります。

PTA4 団体は、「公益社団法人 日本 PTA 全国協議会」、「一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会」、「全国国公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会」、「一般社団法人 全国国立大学附属学校 PTA 連合会」です。

要望内容は、1.教育予算のさらなる確保について、2.通学、通園の危険個所の改善について、3.幼児教育の義務教育化について、4.教職員の働き方改革の支援について、5.国立大学との連携強化による教育の向上について、6.PTA 活動の意義の周知に対する支援について、です。要望書の詳細はファイルをご覧ください。

